

## 令和元年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和元年11月10日（日） 午前9時30分 ～11時33分	
開催場所	東部交流会館	
担当議員	班代表者	高岡伸行
	司会者	酒井弘一
	報告者	谷口雄一
	記録者	柴田はすみ、兎本尚之
	班員 (上記以外)	山本和延、森本 茂
参加人数	9人	
主な質疑・意見等	<p>Q：小学校の体育館等の空調設備の設置について、議会ではどのような議論になっているのか。</p> <p>A：今年の夏期には、空調のある教室を避難所に設定した。設置にあたり、国の全額補助はなく、市は設置を考えていない。災害時の夏の暑い時、避難所として使用する場合には、ユニット式の空調設備をレンタルし、一時的に据え付ける考えである。</p> <p>Q：ハザードマップで、浸水区域とはなっていない優良で広大な農地がある。現在は、この場所は、内水対策の水がめになっている。この場所の内水対策をしっかりとすることで、優良な市街地が形成できるのではないか。</p> <p>A：この場所の内水対策について、現在、市は、国・府と話をしている。田んぼ等が遊水地とならないようにするには、川を作るような改修が必要。今できる考えとして、大きな貯水槽を、2・3個作るなど案はあるが、なかなか前に進まないのが現状となっている。</p> <p>Q：木津にある河川の排水能力は、何ミリの雨量まで対応できるのか。</p> <p>合同樋門の流水区域と流量が分かると、その区域に何ミリの雨が降れば何トンの水が発生するかわかる。これくらいの雨なら耐えることができるから市民の皆さん安心してくださいというのが市議会としてのスタンスであると思う。市民に安心感を与えてほしい。</p> <p>A：合同樋門に関しては、400トンの排水能力が必要とされており、雨量が何ミリまでというのは、把握していない。</p> <p>Q：旧市街地のミニ開発で車が増えたが、道路は狭いままであり、危険な状態である。地区の要望も出しているが、道路整備を考えてほしい。</p> <p>A：開発は法令に適合するものであれば、規制はできない。</p> <p>A：幹線道路を整備し車を誘導するなど考えられるが、今後のまちづくりの参考とさせていただく。</p>	

Q：議会だよりの「大きく前進した」という内容の記事がない。市民が見てこの記事でなるほどと納得できると思えない。

A：広報編集委員会で議論した。環境整備は、東中央線、クリーンセンターの完成。教育環境は、給食センター建設がメドがつき前進したことである。限られた紙面で構成しているのが現状だが、指摘はおっしゃる通りだ。

Q：内垣外内田山線の完成が遅れている。不良資産として凍結していることなど様々なことが予測できたと思うが、それを見越して予算を承認されたのか。

A：できるものとして予算を承認したが、調整がうまくいかなかった等の理由でここまで伸びた。鋭意努力をしてようやくここまでこぎつけた。川があり田んぼの収穫が終わるまで待つ必要があった。

Q：木津川台自主防災会では、できるだけ良い独自の防災マニュアルを作ろうとしているが、これをどう活用しようと考えているか。

A：地域の特性を反映したマニュアルの1つの先進的な事例として紹介して市全域に広げていくのではないかと考えている。

Q：総務文教常任委員会で請願が採択された。記事にある昇降機とはどんなものなのか。

A：障がいを持っている児童がおられて、学校長が親御さんや本人にも説明なしに購入したが、実際に使用すると危ないということで使用しないこととなったと聞いている。

Q：議会だよりについて、市民にわかりやすいような編集にならないか。議員は案件に対して行政と質疑応答されて理解されているだろうが、我々市民は書かれている言葉からだけでイメージを持つので、議員と市民の間で言葉に対するイメージの思い違いが出ているように思える。もう少し市民目線でわかりやすい編集を努力していただけないか。一目で見てわかるような工夫をお願いしたい。

A：限られた紙面と限られた時間の中で悩みながら作成しており、広報クリニックでアドバイスを受け、少しずつ改良してきているのが現状。まだまだわかりにくいとの声があるのも十分承知している。皆さんに読んで理解をしていただけるような議会だより作成に向け、議論していきたいと思う。

Q：議員の質問に対する回答に誤って理解されるような箇所があったが、掲載する時に担当課がチェックをしているのか。求められるのは正確性だと思う。

A：正確にお伝えすることが大切である。まずは議員本人が議事録で確認して書くことが原則。しっかりと行政の担当課と確認できるようにしてまいりたい。

	<p>Q: 決算のページの円グラフを見ているだけでは市の財政がどうなっているのかわかりづらい。政策経費として今年度何に充てられてきたのか、必要経費はどれかわかるように工夫できないか。 早くから必要なデータを確認し、先をにらんだ形で色々な情報を掲載しより良く進めてほしい。</p> <p>A: 義務的経費と政策的経費の対比は、限られた紙面の中では難しい。意見として伺った上で、検討させていただく。議会だよりの分量では表現するのは難しい。</p> <p>Q. 市道の法面管理は、誰がするのか。 A. 市道は市が実施し、法面約1mは草刈りを実施していると思う。</p> <p><b>【市民からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の発信力を高めるため、個人的な考えではあるが、高の原駅を北にずらして木津川市駅にしたり、ホテルなど作って放射状にいけるようにしては。20年後、30年後を見据えた市のブロックプランが必要になってきている。</li> <li>○ 内水排除の問題で、木津地区は合同樋門が一番のネックになっている。議員も市に対して、400トンの排水能力が必要という根拠資料を出すよう求めるべき。市民に安心感を与えてほしい。</li> <li>○ 内水対策については流域の自治体と連携して運動を。将来にわたっては、違う放水路が必要ではないか。</li> <li>○ 木津駅東は優良な農用地と理解しているが、内水の問題など議員が問題意識を持ってほしい。</li> <li>○ 市の職員に被災時の建築物に対する危険度判定の人員を確保すべきでは。特定空家率ではなく空家数での問題意識を市に求めるべきでは。</li> <li>○ 議会だよりに「環境整備と教育施策が大きく前進」とあるが、旧地域は環境整備が遅れており、小さな前進としか思えない。 下水整備されたところとされてないところを同列に扱うような、市の考えはいかがなものかと思う。</li> </ul>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参議院選挙事務に携わったが、小学校の体育館などの投票所は非常に暑い。特に、夜は蚊が多く、せめて休憩所には空調設備があって欲しい。</li> <li>○内水対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>・内水排除の問題で、木津地区は合同樋門が一番のネックになっている。流域の自治体と連携して運動を。</li> <li>・抜本的な解決策として、新たな河川を整備して大きな排水場を設置しないとイケない。今は、費用がかかるかもしれないが、将来的には、見返りのある政策を考えていただけないか。</li> </ul> </li> </ul>

その他 特記事項	議会だよりについて 排水能力と降雨量の関係など分かりやすい記事に。 大見出しに見合う記事を載せるべき。 答弁と違う記事が掲載されている。
-------------	---

上記のとおり、報告します。

令和元年11月29日

木津川市議会議長 山本 和延 様

令和元年度第2回議会報告会

第1班 代表者 高岡 伸 行

Ⓜ